

令和5年 第9回香芝市教育委員会会議（9月定例）会議録

日時 令和5年9月29日(金)
午前10時00分より
場所 香芝市役所5階委員会室

〔出席者〕

教育長 小西 友吉
委員(教育長職務代理者) 田中 貴治
委員 三岡 正美
委員 關野 英明
委員 山田 綾子

〔事務局〕

教育部長 澤 和七
まなび推進局長 津崎 弘美
教育総務課長 玉村 晃章
保健給食課長 土佐 潔孝
学校教育課長 陀安 龍也
学校支援室長 中里 倫
こども課長 山内 隆弘
生涯学習課長 柳原 訓
文化財課長 奥田 昇
市民図書館長 大橋 典子

〔書記〕

教育総務課主幹 木原 健次

- 日程1 定足数の確認
- 日程2 開会の宣言

教育長 それでは時間になりましたので、始めさせていただきます。
出席者が定足数に達しておりますので、これより令和5年第9回香芝市教育委員会
会議（9月定例）を開会いたします。
委員並びに、事務局、傍聴にお越しの皆様方に申し上げます。携帯電話の電源はお切
りになるか、またはマナーモードにしてください。また、香芝市教育委員会傍聴規則第
6条により、写真録音等が禁止されていますのでよろしく願いいたします。

- 日程3 署名委員の指名について

教育長 本日の署名委員は、田中委員と三岡委員をお願いいたします。
よろしく願いいたします。

日程4 諸報告について

教育長

それでは日程に基づきまして、日程4の諸報告として私から報告いたします。

8月23日(水)、統計情報研究会。奈良県の統計情報研究会の会長・事務局長が来庁されました。11月14日に香芝西中学校で研究大会が行われるということで、案内をいただきました。

8月31日(木)、市部長会、教育委員会部課長会。そして、夏季ヒアリング。これは、県教職員課と年度末に行われる教職員人事に先駆けて、管理職についてのヒアリングをさせていただきました。

9月2日(土)、令和5年度香芝市戦没者追悼式。委員さんとともに出席させていただきました。

9月4日(月)、令和5年度第4回香芝市市議会定例会、本会議。議場で、この日から行われております。

9月5日(火)、高円芸術高等学校の金子校長先生が来庁されました。金子校長先生は香芝市在住でおられまして、三和小学校のPTA会長もされた方です。今回は市内4中学校に訪問させていただきたいということで、事前に教育委員会の方に挨拶に来ていただきました。

9月7日(木)、香芝市議会定例会、代表質問・一般質問が議場で行われました。

9月8日(金)、香芝市議会定例会、一般質問が同じく議場で行われました。

9月12日(火)、香芝市議会、福祉教育委員会。委員会室で行われました。

9月13日(水)、香芝市立小・中学校校長会。

9月14日(木)、香芝市立小・中学校教頭会。今年は夏休みが8月31日までになりました。各学校においては、30日と31日に校長から子どもたちに「9月1日から元気に学校に来てくださいね。」「夏休みはどう過ごしましたか。」というような呼びかけをしていただいております。大きな事故もなく、子どもたちが元気に過ごしてくれたという報告を受けています。そういうことを含めまして、校長会では感謝を申し上げます。

同じく14日の午後から第2回学力向上ヒアリングを行っております。この日は下田小学校、香芝中学校のヒアリングを行いました。今年の結果はホームページにも出しましたように、中学校はこの3~4年低迷していたんですけれども、大変頑張ってくださいまして全国平均を上回っております。小学校の学力は徐々に上がってきております。学校支援室の方からも、後でご報告をさせていただきます。

9月15日(金)、香芝市立幼稚園園長会。

同じく15日、第2回学力向上ヒアリング。三和小学校、鎌田小学校、香芝西中学校のヒアリングを行いました。

9月20日(水)、香芝市議会、決算特別委員会。

9月22日(金)、第2回学力向上ヒアリング。志都美小学校、真美ヶ丘東小学校、香芝北中学校のヒアリングを行いました。

9月24日(日)、奈良クラブの選手によるサッカー教室を生涯学習課が開催してくれました。応募が160名、大変たくさんの応募があったということで、奈良クラブの事務局の方もびっくりされていました。実際に参加ができたのは、会場等の都合もあり選手の皆さん含めて65名。大変大盛況で、良い指導をいただき、また楽しく過ごすことが出来ました。本当に感謝しております。

9月25日(月)、第2回学力向上ヒアリング。関屋小学校、五位堂小学校、香芝東中学校のヒアリングを行いました。

9月26日(火)、第2回学力向上ヒアリング。最終日は、二上小学校、真美ヶ丘西小学校、旭ヶ丘小学校のヒアリングを行いました。学力向上ヒアリングは、以上5日間で、この日で終了しております。今後さらに各学校が丸一となり、学力向上にも

取り組んでいただきたいという思いで終わりました。

9月27日(水)、香芝市議会定例会、本会議。議場で行われました。

9月28日(木)、市初任者研修。初任者研修は火曜日班と木曜日班に分かれて行うわけですが、昨日、今年度に初任として採用された先生方が元気に来てくれました。当初、学校の中で少し不安を感じておられた先生もしっかり乗り越えてきていただいて、そして、昨日は指導主事・室長、また、いろんな形で関わっていただいている先生方にも来ていただいて6コマの講義をしていただいております。充実した1日でした。勉強していただいて、今後さらに頑張っていってくださることを期待しております。

以上、諸報告でございます。

教育長 　　ただいまの報告につきましてご質問等がございますか。

教育長 　　ご質問等が無いようですので日程5に進みたいと思います。

日程5 (1) 議第27号「学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」

教育長 　　案件(1)議第27号「学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」事務局より説明をお願いします。
学校支援室長。

学校支援室長 　　ただいま提案になりました議第27号「学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」提案理由説明を申し上げます。

本案は、香芝市教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則第2条第5号により、香芝西中学校の学校運営協議会委員の解嘱及び、委嘱を行うものでございます。議案書1ページの方が対象の方でございます。今回、解嘱となる理由につきましては、委員の方の一身上のご都合でございます。それに伴いまして、新たに委員の委嘱を行うものでございます。

何卒慎重審議の上、原案可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

教育長 　　ただいまの説明につきまして、何かご意見ご質問等がございますか。

教育長 　　よろしいですか。

教育長 　　本案につきまして、ご異議はないでしょうか。

各委員 　　(「異議なし」の声あり)

教育長 　　ご異議がないようですので、原案の通り可決することといたします。

日程5 追加案件(1) 議第28号「令和5年10月1日付香芝市教育委員会、事務局職員の人事について」

教育長 　　本日、追加議案が提出されておりますが、ここでこの案件を日程に追加し審議することにご異議はございませんか。

各委員 　　(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないようですので、議案を追加し、審議することといたします。

教育長 追加案件（１）議第２８号「令和５年１０月１日付香芝市教育委員会、事務局職員の人事について」ですが、人事に関する案件ですので秘密会で審議したいと思います
が、ご異議ないでしょうか。

各委員 （「異議なし」の声あり）

教育長 ご異議がないようですので、追加案件（１）の審議は秘密会とさせていただきます。

教育長 傍聴人の方は退席いただきますようお願いいたします。
暫時休憩いたします。

（ 非公開部分 ）

教育長 休憩を解き、再開いたします。

日程５（２） その他

教育長 それでは、案件（２）その他として各課より報告があればお願いいたします。
教育部長。

教育部長 私の方からは、令和５年９月４日から９月２７日までを会期として行われました
９月議会について、ご報告の方をさせていただきたいと思っております。
教育委員会に関連いたしました案件についてでございますが、本会議初日におき
まして、香芝市教育委員会の委員の任命同意案件で、中尾茜委員の任命につき同意
いただきました。
続きまして、二上小学校の工事期間変更に伴います債務負担行為の補正予算、香芝
市望ましい学校環境検討委員会の設置に係る附属機関設置条例の一部改正。及び、学
校施設や総合体育館などの体育施設・公民館等の文化施設を含みます香芝市学校施設
使用条例等の一部改正につきまして、原案可決いただいております。
また、令和４年度一般会計歳入歳出決算につきましては、不認定となりました。ご
指摘を受けた部分につきましては、市全体で是正の方をして参りたいと思ってお
ります。
続きまして、代表質問及び一般質問におきましては、「香芝市学校施設の再編等に
関する基本方針について」の関係の質問、また不登校児童生徒へのケアについての行
政の取り組み、医療的ケア児に対する取り組み、中学校での献血教育や夜間中学の状
況、熱中症対策や体育館への空調の設置、全国学力・学習状況調査の結果と課題につ
いて、施設利用時の減免団体の利用手続きについて、軽スポーツの普及と健康寿命の
関係など１２名の質問者中１０名から幅広くご質問をいただいたところでござい
ます。
以上、簡単ではございますが９月議会の概要の報告とさせていただきます。

教育長 ただいまの報告につきまして、ご意見、ご質問がございましたらよろしくお願
いします。

教育長 よろしいですか。

教育長 他に報告がございましたら、お願いいたします。
学校支援室長。

学校支援室長 私の方から4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果につきましてご報告申し上げます。

まず、全体的な結果といたしましては、先ほど教育長からもありましたけれども、この2年、3年の間で、改善、あるいは向上の兆しが見えて参りました。特に中学校ではその結果が顕著でございました。この期間、各校管理職とのヒアリングを通じまして、学校全体として、学力向上に取り組むことの重要性について繰り返し学校と協議をして参りましたこと、また、中学校におきましては、各教科の専門性をもって、分析に基づく事業改善、これに取り組んでいただいたことが結果に結びつきつつございます。

続きまして、教科ごとの報告をさせていただきます。

初めに国語科でございます。全体的に見ますと、記述式の問題に関して、やはり課題が見られました。この記述式の問題における正答率の低さ、無解答率の高さ、これが数年来の課題であり、各校ともこの課題を克服すべく、取組を進めておるところでございますが、依然として苦手とする部分でございます。例えば、目的や意図に依拠して書く、自分の考えが伝わるように書く、事実、意見を区別して書くなど、こういったところを意識した指導が必要であると考えております。その他の部分で申しますと、小学校では漢字の書き取り、あるいは敬語の理解、中学校では古典の語句理解といったところが課題として上がって参りました。これらの課題につきまして、まず基礎・基本の確実な定着を図るために、反復学習だけではなく、日頃の授業におきまして、この知識及び技能における指導事項、これを意図することが肝要であると、このように考えております。また、『書くこと』につきましても、単に書く機会を充実させるだけではなく、先ほど申し上げましたような目的や意図・ねらいを持って書かせるなど、条件を設定して書くという学習活動が必要になってこようかと考えております。

続いて算数・数学でございます。まず小学校の調査からは、図形の領域において課題が見られました。例えば、示された図形について判断していくという問題では、子どもたちはそれが台形であるということは見てわかっているんですけども、その性質の理解について間違えていると、こういった実態もございました。各学年において押さえておくべき点については丁寧に押さえること、そして、系統的に指導するというのを今一度大事にしていく必要がございます。また、教科書だけではなくて、より実感を伴った理解を図るということのをねらって具体物を操作しながらの学習等も必要であると、このように考えております。一方中学校の方ですけども、数学的に解釈をして、またその数学的な表現を用いて説明するといった問題で無解答率が高いという課題が見られました。この説明する力につきましては小学校でも共通しておりますので、基礎的な知識理解と読解力、これの基盤となる部分を固めるとともに、一方的な学びではなくて、インプットする・聞く・知るだけではなくてアウトプット、この両面を活性化させるような、対話的な学びというものを今後一層大切にしていきたいと思います。

最後に、中学校の英語でございますけれども、特に話すこと調査について課題がございました。授業の中におきまして、『コミュニケーションとしての英語である』といった意識を持った指導の大切さについて改めて見えて参りましたので、例えばペア、例えばグループ、などといった形で場面に依じた表現活動、これを多く設定していくことが大切であると考えております。

先ほども申しましたけれども中学校におきましては、教科の専門性をいかに発揮するというに強みがございますので、指導者間による実践の交流、これを十分行うことによって日々の指導に活かしていくということが大切であると考えております。

これらの分析結果につきましては、先ほども申し上げました通り校長会や各校とのヒアリングを通じて共有・協議をしてございます。

以上が、各教科の調査についてのご報告でございますけれども、まずは子どもたち

が「学ぶことが楽しい・学ぶことが好きだ」と思える授業の実現に向けまして我々も支援をして参りたいと、このように考えております。私からの報告は以上でございます。

教育長 ただいまの報告につきまして、ご意見、またご質問、ご感想等がございましたらお願いいたします。

三岡委員。

三岡委員 きめ細やかな分析をしていただきまして、ありがとうございます。

まず、小学校よりも中学校の学力の向上が顕著に現れているというお話だったんですけれども、それを伺いまして思いましたのが、昨年、数年ぶりにコロナで中断しておりました学校訪問にうかがわせていただきまして、中学校では英語と数学の少人数制を4年ぐらい前よりもかなり多く取り入れられている学校が多かったように思います。やはり、つまずきやすい・個人的な格差が出やすい英語と数学においては、少人数制のきめ細やかな授業というのは本当に大切だと今回改めて痛感いたしました。その分先生方は授業数が増えて、空き時間がほとんどないという状態になってしまうかと思うんですけれども、先生方には本当にご苦労お掛けいたしますが今回の結果を受けまして、これまでの頑張りが目に見えた形で出ておりますので、さらに続けていただければと願っております。

教育長 ありがとうございます。

先ほど、私の方からヒアリングを重ねてきているという話をしました。本当に重ねるごとに学校が特色的な取り組みをしていってくれているということがよくわかってきました。小学校も作文に力を入れる学校もあれば、読書に力を入れる学校もごございます。そういうふうには、特色を持ってどんどんやってくれています。

その大きな結果として、英語のコンクールで優勝する子ども、また青少年健全育成の作文では香芝市の中学生の出展率が一番高く、優秀賞をいただいている数も、県下の半分ぐらいが香芝市でございました。

そういうふうには積極的にいろんな形で、小学校も中学校も取り組みをしていただいていること、そのことをずっと継続していただいていること、本当にありがたいなと感謝しております。

そういうことも付け加えて報告をさせていただいております。

教育長 他に何かご意見、ご感想等はございませんか。

田中委員。

田中委員 自分自身の小さいときの経験から言うと、何となく授業って答えを求められる部分がイメージとして自分の中に残っているんです。いろんなことを考えたときに、学習だけに限らず人間関係でも何でもそうだと思うんですけれども、一番ベースになる好奇心というか、クエスチョンマークがいかにあるかっていうことが自分の実体験という部分では非常に大きいのかなというふうに思います。なかなか、みんなの個々の意見を聞いていると授業も進まないですし、先生が質問したことに対して逆質問されたらこれもまた授業が進まないんで、なかなか難しい部分はあろうかとは思いますが、誰かが口火を切って、「ん？じゃあこういう時はどうなるの？」というふうなところから少し深いところにも入っていける部分もあるのかなというふうにも思います。何でもそうだと思うんですけれども、自分自身が実体験出来るのがいろんな意味での多様性という部分にも繋がっていくのかなと思います。

先生方、単元もあって授業時間も制約がある中で、いろいろ頑張ってくださいまして、努力していただき、子どもたちの学力を向上していただいていることは非常にあり

がたいなと思います。でも最終的には、その子のやる気というよりも、「なぜなんだろう」という単純な、単純な疑問というのが非常に学習の中で大きいのかなというふうに思います。授業は先生が一番の本分ですので、いろいろと新しいネタを共有しながら学力の向上に努めていただけたらなと思います。以上です。

教育長 ありがとうございます。

教育長 他に何かご意見、ご感想等はございませんか。
關野委員。

關野委員 最近よく考えることなんですけれども、やっぱり生徒・児童の「わかる喜びを味わう」、これがものすごく大事だと思うんです。簡単な問題であれ、基本的な問題であれ、「わかった・理解できた」という、そこがものすごく大事だと思うんです。だから、それを大事にして行って、それを次へ、次へ、繋げていく。

また、今、田中委員も言われましたが、やっぱり好奇心ですよね。いろんなものに興味を持つ。そして、小学校の時にはとにかく実際にやってみていろんなことを学んでいく。そして中学校になったらそれは論理的に理解していく。そして、今、私、小学生を相手にして勉強を教えたりしますけども、とにかくわかる喜びというのを大事にしたいと考えているんです。そうすると、勉強がだんだん面白くなっていくんです。

それと、いろんな教科ありますけども、国語の読解力が大事ですよね。『日本語』はあまり勉強することはないですけども、やはり文章の読解力は大事で、文章の中に何が書いているか、それをしっかり読み取る。そして、そこからの表現力や記述する力が大事ですね。私、以前に高校生で物理や化学を教えておりましたけれども、問題を読んで、その問題を図に描けないんです。私が描いた図とは全然違う図を描いてしまう。こっちが描いた図を見たら、生徒の方も納得して理解して、そこからスタート出来るんですよね。だから、文書の読解力、そしてそれを表現していく力が大事かなという気がします。最近特に、国語の読解力は非常に大事だということを痛感します。いろんな子どもを見ていたら、とにかく、そういうものをしっかりやって、「そこは文章に書いている。じゃ、君はそれをどう思うの。」「読んでごらん。その文章に対する自分の気持ちを自由に書きなさい。」とか、そういう指導を、週1回ですけども、今やっているところです。もし参考になりましたら、またいろいろ考えてもらったら結構だと思います。以上です。

教育長 ありがとうございます。他に何かご意見、ご感想等はございませんか。
山田委員。

山田委員 私も国語についてなんですが、最近では携帯とかタブレットを持ってる子も多いですし、わからないことはすぐに答えを調べるんですよね。考えの経過がないので、何でこうなったかというのがわかっていないんです。なので、今も実施していただいているようにグループやペアでの学習をして、何でそういう結果になるのか、みんなで話をして出た答えは頭に残ると思うんです。忘れないと思うんですよね。いろんな家庭環境や多様性等もありますので、帰宅してからずっとタブレット見ている、動画を見ている、しゃべらない子も多い世の中になってきているように思うんです。なので、学校ではしっかりしゃべって、しっかりひとつの問題についてみんなで話し合っただけで答えを出していくということは、読解力、表現力、すべてに繋がっていくと思うので、今後もそのグループ学習・ペア学習の方に力を入れていただけたらありがたいと思います。

教育長 ありがとうございます。

学校支援室長。

学校支援室長 本当に貴重な意見をたくさんいただきましてありがとうございます。まずは、事務局でいただいたご意見を参考にしながら、また学校への指導に活かして参りたいと、このように考えてございます。本当にありがとうございました。

教育長 ありがとうございました。今、学力調査が話題になったわけですが、議会では、不登校やいじめということもいつも議題が上がってきます。
私も昨日もすみれ教室に行って参りました。学校に行きづらいなんですけれども、子どもたちは元気に昼間過ごしていました。「僕と何したい」と聞いたら、「卓球したい」って言って20分ほど卓球をして遊んで来ました。実際に学校に行きづらい子どももいます。
学校支援室長、委員さんにその辺りのこと、ご報告出来る部分で結構ですでお話をお願いいたします。

学校支援室長 今、教育長からお話がありました不登校の問題につきましては、本市のみならず、全国的な課題でございます。そんな中で、子どもたちの様子をしっかりと、教員が見取っていくということを大事にしていくわけですが、そんな中で、やはり不登校に至る要因というのは様々でございます。ですので、通り一辺倒と申しますか、もうこのことをやればそれで済むんだということがなかなか無いなかで、担任が1人だけで対応するのではなくて、もちろん我々教育委員会もそうなんですけれどもカウンセラーであったり、様々な機関と連携をしながら、複数の大人が子どもを見ていくということが大事であると。こういったことを、今我々も考えておるところでございます。当然学校もそのような意識を持って、例えばこの子にはオンラインでの指導があっているのか、この子にはそうではなくて別室で教員がついて対応するのがいいのか、先ほど申し上げましたように要因が様々でございますので、個々のケースに応じながら対応しておるといったところでございます。以上です。

教育長 急に質問しましてすいません。お答えいただきましてありがとうございます。
このように、学力だけじゃなくて、知・徳・体のバランスのいい子どもたちということを目指しております。学校支援室は、学校のちょっとした問題もすぐに対応しております。学校との連携を密にしながら対応しておりますので、そこもあわせて報告しておきます。

教育長 他にご質問等はございませんか。
關野委員。

關野委員 別の話になりますがよろしいですか。
ここに『質問紙調査結果』というのがありますけれども、その中に国語の勉強は好きか、算数の勉強は好きかななどの質問があります。調査結果のところでは香芝市では、自分に良いところがあると思うが小学校では82.5%、ところが中学校に入ってくると76.5%になっていますね。小学校で明るくやっていた子どもが中学校へ入ってから何かこう76.5%とガタンと数字が下がってしまっていて、中学校へ入ってきて明るさや笑顔が無いのかなと、ちょっとそれが気になったんです。先ほどの話で、わかる喜びとか、そういう気持ちでもって、子どもたちが明るくなってきたのかなとそういう感じがしていたんですけれどもね。この数字はちょっと下がり過ぎかなと思いました。

教育長 学校支援室長。

学校支援室長　私どももこの数値については、注視をしておるところでございます。香芝市におきましても、今、委員がご指摘の通りの数値になってございます。けれどもこれは全国、県を見て参りましても小学校から中学校にかけて、このような数字の推移があるわけでございますが、決して、子どもたち、みんなが暗い顔して登校しているかというところではないとは思いますが、ただ、一人一人の子どもたちの様子をしっかりと教師が見ていくということは委員のおっしゃる通りかと思っておりますので、現場ともしっかり学校全体を丸めたような形ではなくて、一人一人の子どもの笑顔がどうであるかというところもしっかり教育委員会と学校が対話しながら進めて参りたいと考えております。以上です。

教育長　　ありがとうございました。ほかにご報告等はございませんか。
保健給食課長。

保健給食課長　保健給食課からは、公立小学校・中学校の女子トイレに生理用品を設置する事業につきまして報告させていただきます。
学校の方に、生理用品やサニタリーケースなどを9月19日に納品させていただいており、順次設置していただいております。これによって必要とする児童・生徒がいつでも、生理用品を使用できるようになると考えております。以上です。

教育長　　このことにつきまして何か質問等はございますか。

教育長　　ございませんか。

教育長　　他に各課からご報告等はございますか。

教育長　　ございませんか。

教育長　　それでは、以上をもちまして今回の教育委員会を終わりたいと思います。次回の第10回の教育委員会会議ですけれども、日程につきましては、このあとご相談させていただきたいと思います。

教育長　　本日の案件は全て終了いたしました。これを持ちまして、令和5年第9回教育委員会会議を閉会といたします。委員の皆様におかれましては、慎重審議ありがとうございました。以上で散会といたします。

(午前10時50分 閉会)